

令和3年度
保育所における自己点検・自己評価

A : たいへん良い
B : 良い
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

くろがわのぞみ保育園

項目	内容	評価				意見・改善策			
		A	B	C	D				
保育目標に	(1)保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				乳幼児の発達を理解・把握した上で目標設定をした。			
	(2)設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				コロナ禍で個人面談や懇談会は予定したものの中止となったが、希望者にはその意向に沿って実施した。行事アンケートなど保護者の要望を反映させる機会を			
保育に	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				乳幼児の発達を理解・把握した上で作成・実践した。			
	(2)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				園内研修にて定期的に保育環境の見直しを実施した。子ども自らが主体的に遊べる環境作りに努めた。			
行事に	(1)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				コロナ禍で計画通りには実施できず縮小・中止もあったが、行事についての意義を職員間で討議・確認し合えた。			
	(2)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				会議等を通じて、活動の内容の検討を重ね、安全が確保された上で年齢に見合った取り組みをした。			
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。	○				能率的、合理的に進められるように更に学び、職員の意識を高めていきたい。		
		(2)職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職員間の連携は取れており、協働体制の努力もみられ安定していた。		
		(3)割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。	○				各自責任を持って遂行していたが、今後も更に協力しあって完遂の努力をしていきたい。		
	保健・安全指導	運営	(1)自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			職員が組織の一員としての自覚と考えが持てるような働きかけを行い、個々の意識を高めていきたい。	
			保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。	○				コロナ禍で園児には積極的ながい・手洗い等の励行を促し実施した。コロナ・感染症対策に努めた。
				(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				年間計画に基づき、防災避難訓練は毎月実施した。交通安全指導は小学校入学時を意識して3月に実施した。
				(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				定期的にお便りを配布し、保健専用の掲示板を活用してコロナ・感染症などの注意喚起を続けた。また、必要な方には個人対応も行った。
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				コロナ禍のため、研修・会議等はリモートで参加した。メールや電話等で各方面との連携を取るよう努めた。		
		研修	研修	(1)資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。		○			コロナ禍で外部研修は参加を控え、職場にてリモート受講をした。今後も研鑽に励み意識を高めていきたい。
				(2)研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。		○			コロナ禍で計画通りにはできなかったが、リモートを活用した。今後も意識を高めて各自の視野が広がるよう情報を共有していきたい。

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報 ついで	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				最大の重要事項の一つととらえ、繰り返し確認を行い徹底に努めている。
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。	○				職員が勤務時間内で処理できるよう工夫し、各自が努力した。
施設・ 設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				毎月定期的に安全点検を行い安全確保に努めた。出来る範囲で修理修繕を行うものの、業者に依頼することもあり危険回避に努めた。
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○				計画に基づいて不審者侵入対応訓練を行った。職員が冷静沈着の判断行動をとる重要性を確認する。今後も意識を高めて行く。
開 か れ た 保 育 所 づ く り	家庭・ 地域との 連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。	○			保育や行事は保護者および地域に受け入れられ定着している。収束した際には更に連携を深めていく用意がある。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。	○			自粛が続いている。コロナが収束した際は年間計画に基づき、小中学校・介護施設・老人クラブ・地域の保育園などの世代間交流など交流す例年は地域の清掃・シルバー会・施設訪問など参加したが、コロナ禍で自粛となった。コロナ収束の際は参加していく意向である。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。 また、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	子育て 支援の 連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。		○		定期的に看護師の育児相談を実施し、場合によっては他の専門職も対応している。コロナ収束後は、従来通りの支援を実施する用意がある。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。 また、交流を図ることに前向きであるか。	○			コロナ禍ではあったが、園庭開放や園庭からの見学は継続した。収束後は広くて安全な園庭で園児や職員と十分に触れ合うなど利用して頂く用意がある。
	評外 部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。	○			地域・保護者からの苦情があった際は、即対応する用意がある。保護者の行事アンケートなどによる意見は、検討して次に反映している。